corega®

BAR-SD

取扱説明書

http://www.corega.co.jp/

PN J613-M7390-00 Rev.A

お使いいただく前に

本書の「安全にお使いいただくために　必ずお守りください」（P.1 ～ 3）を必ずお読みください。

作業の流れ

本書では、本製品を使ってインターネットに接続できるようになるまでの作業をステップに分けて説明しています。各ステップでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

STEP1

まず準備が必要

① 添付品の確認
② 使用環境の確認
　プロバイダーや回線業者との契約が済んでいるか、モデムなど必要な機器の準備ができているか、などを確認してください。
③ 本製品の特長、各部の名称と役割の確認

STEP2

ネットワークに接続しよう

① パソコンのネットワーク設定
　使用する OS に対応した箇所を読んでください。
② 本製品とパソコンの接続
③ 本製品の設定
　インターネット接続のための最小限の設定をします。ご利用になるプロバイダー、回線などによって、設定内容が異なります。該当する箇所を読んでください。
④ 本製品とモデムの接続
⑤ インターネットへの接続

STEP2 までの作業が終われば、インターネットに接続できるようになります。
STEP3 以降は、必要に応じて読んでください。

STEP3

トラブルや疑問があったら

STEP2 までの作業で、インターネットへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このステップを読んで解決方法を探してください。

STEP4

設定ユーティリティーを見てみよう

本製品は、内蔵の設定ユーティリティーによって、詳細な設定ができます。このステップでは、設定ユーティリティーで設定できる項目について説明しています。

STEP5

こんなときにはこの設定

ネットワークゲーム、音声／ビデオチャットを利用する際の本製品での設定方法について説明しています。

STEP6

付録

製品仕様、保証と修理に関する説明があります。

安全にお使いいただくために　必ずお守りください

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

	感電の可能性が想定されることを示します。		発煙または発火の可能性が想定されることを示します。
	けがを負う可能性が想定されることを示します。		

障害や事故の発生を防止するための、その他の注意事項は次のマークで表しています。

	電源プラグを抜く 電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

⚠警告

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。（当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。）

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

添付の専用 AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、添付の専用 AC アダプターを使用してください。

専用 AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）。

はじめに

このたびは、「corega BAR-SD」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用していただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報(ファームウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせします。

http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本製品	corega BAR-SD を指します。
「　」−「　」−「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。

●イラスト、画面について

・ 本文中に記載の画面は、実際の画面と多少異なることがあります。

目次

STEP1 まず準備が必要

添付品の内容を確認しよう

本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、ご購入元までご連絡ください。

□ corega BAR-SD 本体

□専用 AC アダプター

corega

BAR-SD

取扱説明書

STEP1 まず準備が必要 1
STEP2 ネットワークに接続しよう 2
STEP3 トラブルや疑問があったら 3
STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう 4
STEP5 こんなときにはこの設定 5
STEP6 付録 6

http://www.corega.co.jp/

P/N J613-M7390-00 Rev.A

□取扱説明書（本書）

製品保証書（1 年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名 corega BAR SW-4P HG

シリアル番号（S/N）

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先
corega サポートセンター
TEL：045-476-6268 FAX：045-476-6294
住所：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※本保証書にお買い上げ販売店の記名及び捺印がない場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

2002年7月Rev.A 初版　J613-W7245-00 Rev.A 020705

□製品保証書

□縦置きスタンド

□ LAN ケーブル（1 本）

使用環境を確認しよう

本製品とパソコンを接続するには、パソコン側に以下の環境が必要です。

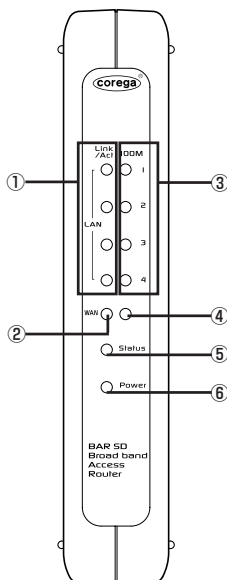
LAN コネクター （10BASE-T/ 100BASE-TX ポート）	LANコネクターがない場合は、ご利用のパソコンに合わせて次のいずれかの方法で、LANコネクターを増設してください。増設方法については、パソコン、またはLANボード、LANカード、LANアダプターの取扱説明書を参照してください。 ・ 拡張スロット（PCIバスまたはISAバス）にLANボードを取り付ける ・ PCカードスロットにLANカードを取り付ける ・ USBコネクターにLANアダプターを取り付ける
OS	本製品は、Windows XP／2000／Me／98／95／NT 4．0、Mac OS、UNIX、Linuxなど、TCP/IPをサポートするすべてのOSに対応しています。
推奨Web ブラウザー	本製品の設定は、Webブラウザー（フレームに対応しているもの）で行います。パソコンに次のWebブラウザーがインストールされているか、確認してください。 ・Microsoft Internet Explorer 5.0以降

製品の特長をとらえよう

本製品には、次のような機能があります。

- ・FTTH/ADSL/フレッツADSL/CATV対応のブロードバンドルーター
- ・WANポートは100BASE-TX/10BASE-T対応
- ・全ポートAUTO MDI/MDI-X対応
- ・セットアップウィザードで簡単インターネット接続
- ・2つのルーティング方式（スタティック,RIP）に対応
- ・PCデータベースによるユーザー管理が可能
- ・詳細なアクセス制限が可能
- ・E-MAIL機能にてログ情報を指定のアドレスに送信可能
- ・DDNS（ダイナミックDNS）対応
- ・Web管理によるHTTPからのファームウェアアップグレードが可能
- ・インターネットを経由したリモート設定が可能
- ・UPnP対応
- ・NetMeeting、Windows Messenger、MSN Messengerに対応

各部の名称と機能を覚えよう

■本体前面

① Link/Act LED（LAN 側）（緑）

本体背面の LAN ポートの状態が表示されます。
点灯：ケーブルが正常に接続されています。
点滅：データ通信中です。
消灯：ケーブルが接続されていません。

② Link/Act LED（WAN 側）（緑）

本体背面の WAN ポートの状態が表示されます。
点灯：ケーブルが接続されています。
点滅：データ通信中です。
消灯：ケーブルが接続されていません。

③ 100M LED（LAN 側）（緑）

本体背面の LAN ポートの動作速度が表示されます。
点灯：100Mbps で動作しています。
消灯：10Mbps で動作しています。

④ 100M LED（WAN 側）（緑）

本体背面の WAN ポートの動作速度が表示されます。
点灯：100Mbps で動作しています。
消灯：10Mbps で動作しています。

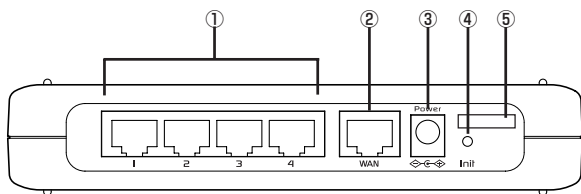
⑤ Status LED （橙）

システム初期化時のセルフテストの状況が表示されます。
点灯：セルフテストの結果、異常がありました。
点滅：本製品の起動中です。
消灯：本製品は正常に動作しています。

⑥ Power LED （緑）

本製品の電源が入っているときに、緑色に点灯します。

・ケーブルが接続されている状態とは
ケーブルが正しく接続され、相手通信機器と LINK が正しくとれている状態のことです。
・ケーブルが接続されていない状態とは
ケーブルが接続されていない、または、相手通信機器と LINK が正しくとれていない状態のことです。

■本体背面

① LAN ポート

パソコンやハブを接続するためのポートです。１～４までの４つのポートがあります。100Mbps/10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。

② WAN ポート

本製品とADSL／CATVモデムまたは既存のネットワークを接続するためのポート(RJ-45)です。

③ DC ジャック

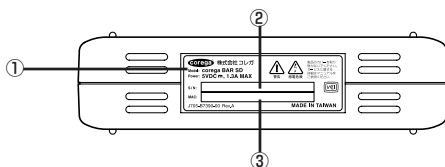
添付の専用AC アダプターを接続するためのコネクターです。

④ Init スイッチ

本製品の再起動、または設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本製品を再起動する」(P.40)、または「本製品を工場出荷時の状態に戻す」(P.41)を参照してください。Initスイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので操作方法をよくお読みになって使用してください。

⑤ファームウェアラベル

本製品をご購入時のファームウェアバージョンが記載されています。

■本体底面

①警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されておりますので、必ずお読みください。

②シリアル番号（S/N:）

本製品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

③ MAC アドレスラベル（MAC:）

本製品のWAN 側ポートのMAC アドレスが記載されています。

パソコンのネットワーク設定をしよう

本製品を利用してインターネット接続ができるように、ご使用になるパソコンのネットワーク設定を行います。次の内容を確認してください（確認と設定の方法は、OS の種類など、ご使用になるパソコンの環境により異なります）。

・ネットワークアダプタの設定
・TCP/IP の設定

複数のパソコンをインターネットに接続させる場合、すべてのパソコンでネットワーク設定を行う必要があります。

■ Windows XP で利用しよう

この作業は「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザー名でログオンして行ってください。ユーザー権限については、OS の取扱説明書を参照してください。

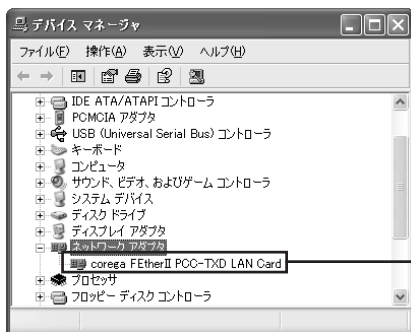
●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 「スタート」－「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブをクリックして「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

3 「デバイスマネージャ」画面の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

ネットワークアダプタ
※実際に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。

×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

●TCP/IP プロトコルを確認する

1 「スタート」−「コントロールパネル」をクリックします。

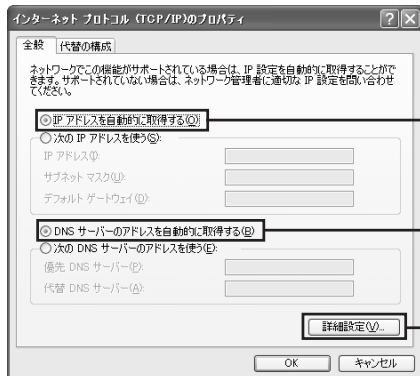
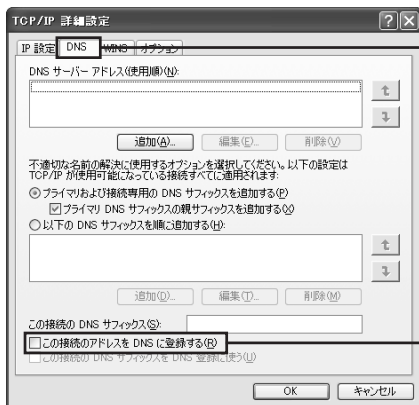
2 「コントロールパネル」にある「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3 「ネットワーク接続」アイコンをクリックします。

4 「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

5 「全般」タブにある「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっているか確認します。

6 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。

7 「全般」タブにある「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

8 「TCP/IP詳細設定」画面で「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスをDNSに登録する」のチェックを外します。

9 「OK」ボタンをクリックします。

10 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

11 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で、「OK」ボタンをクリックします。

12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。

メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

13 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.22)に進みます。

■Windows 2000で利用しよう

この作業は、「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログインして行ってください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書を参照してください。

●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1 デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

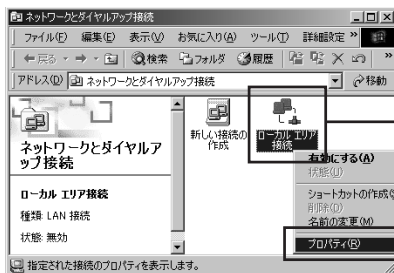
3 一覧の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

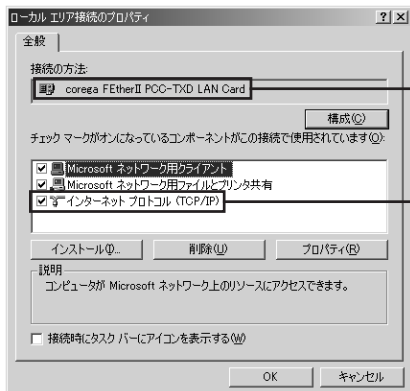
4 ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確かめます。

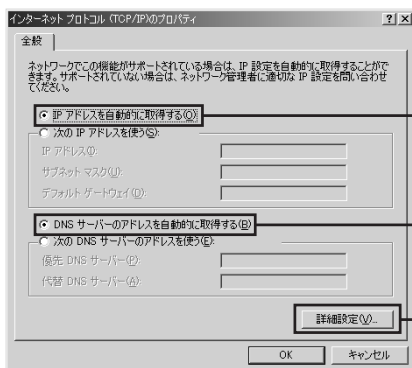
×や！マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

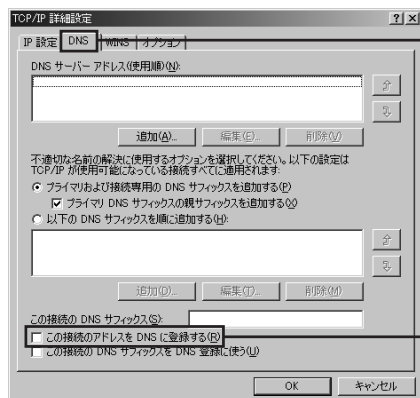
●TCP/IP プロトコルを確認する

1 「スタート」－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします。

2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

※「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境により異なる場合があります。

3 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が一覧にない場合は、「TCP/IP をインストールする」(P.16)を参照してください。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

5 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックします。

6 「TCP/IP 詳細設定」画面で「DNS」タブをクリックし、「この接続のアドレスをDNS に登録する」のチェックを外します。

7 「OK」ボタンをクリックします。

8 「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックします。

9 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックします。

10 再起動を促すメッセージが表示された場合は再起動します。

メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

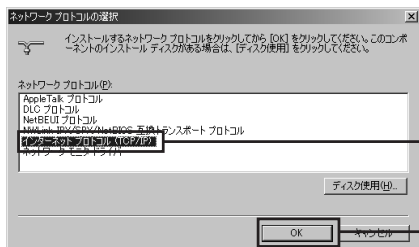
11 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.22)に進みます。

● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インストール」ボタンをクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されたら「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

3　「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されたら「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

4　「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が有効になっていることを確認します。

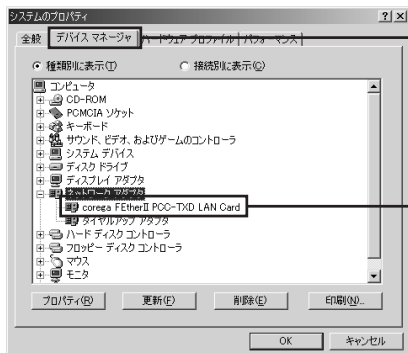
インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P.14) の手順を行ってください。

■ Windows Me ／ 98 ／ 95 で利用しよう

●ネットワークアダプタの状態を確認する

パソコンに取り付けられたネットワークアダプタが正常に動作しているか、デバイスマネージャなどで確かめます。

1　デスクトップにある「マイコンピュータ」を右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックします。

2　「デバイスマネージャ」タブをクリックし、表示されたハードウェアデバイスの一覧から「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
ネットワークアダプタの名称が表示されていることを確認します。

・×や!マークが表示されている場合、ネットワークアダプタは正常に動作していません。ネットワークアダプタの取扱説明書をお読みになり、正常な状態にしてください。

・「Microsoft仮想プライベートネットワークアダプタ」「ダイヤルアップアダプタ」などのアダプタ名が表示されていることがありますが、これらは本製品で使用するネットワークアダプタと関係ありません。

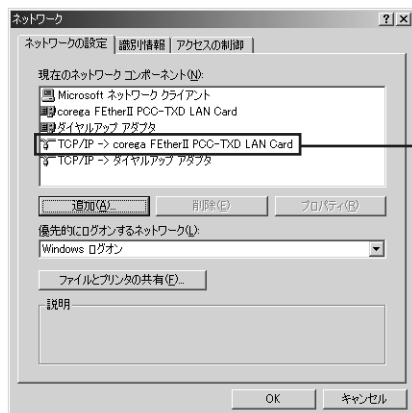
●TCP/IP プロトコルを確認する

ここでは例としてWindows Meを使用しています。Windows 98／95をご使用の場合も手順は同様です。

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

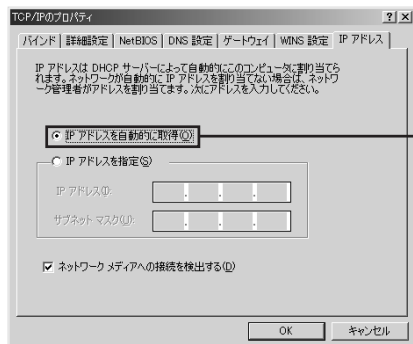
2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3 「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP －> XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が表示されていることを確認します。

※画面は例です。
・「TCP/IP －>」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

「TCP/IP －> XXXXX（ネットワークアダプタ名）」が表示されていなかった場合は、「TCP/IPをインストールする」（P.20）を参照してください。

4 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP ー>XXXXX(ネットワークアダプタ名)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

メモ
「TCP/IP ー> XXXXX（ネットワークアダプタ名)」が複数表示されている場合は、ご使用になるネットワークアダプタの方を選択します。

5 「IPアドレス」タブで「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。

6 「OK」ボタンをクリックします。

7 「ネットワーク」画面の、「OK」ボタンをクリックします。

Windows の OS 用ディスクを入れるようにダイアログが表示された場合はドライブに Windows の OS 用ディスクを挿入し、メッセージにしたがって操作します。
再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

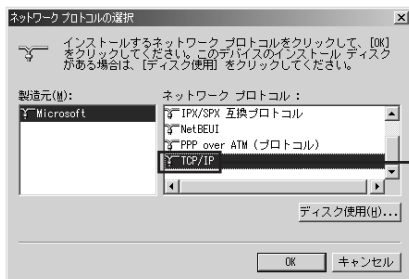
8 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.22)に進みます。

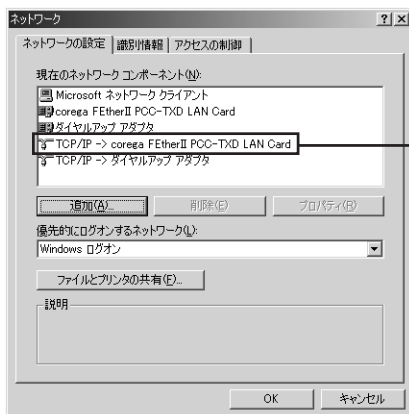
● TCP/IP をインストールする

TCP/IP がインストールされていなかった場合は、次の手順でインストールしてください。

1 「ネットワーク」の画面で、「追加」ボタンをクリックします。

2 「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面で「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。

3 「ネットワークプロトコルの選択」画面の「製造元」で「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」の一覧から「TCP/IP」を選択します。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に「TCP/IP —>XXXXX(ネットワークアダプタ名)」が追加されていることを確かめます。

※画面は例です。
・「TCP/IP —>」の横に表示される名称は、ご使用になっているネットワークアダプタのメーカー、機種によって異なります。
・ダイヤルアップアダプタがない場合は「インターネットプロトコル(TCP/IP)」、「TCP/IP」などと表示される場合もあります。

6 「OK」ボタンをクリックして「ネットワーク」画面を閉じると、再起動を促すメッセージが表示されますので、再起動します。

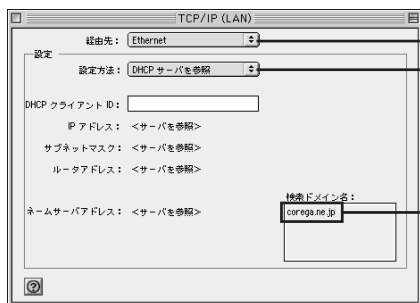
メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

インストールが完了したら、「TCP/IP プロトコルを確認する」(P.18) の手順を行ってください。

■Mac OS で利用しよう

●Mac OS 8.x ～ 9.x の場合

1 コントロールパネルにある「TCP/IP」を開きます。

2 「経由先」で「(内蔵)Ethernet」を、「設定方法」で「DHCPサーバを参照」を選択します。

3 画面を閉じます。

4 次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.23)に進みます。

●Mac OS X の場合

1 「アップルメニュー」－「システム環境設定」を選択します。

2 「システム環境設定」画面で「ネットワーク」をクリックします。

ツールバーに「ネットワーク」がない場合は、「すべてを表示」をクリックします。

3 「ネットワーク」の「表示」で「(内蔵)Ethernet」を、「TCP/IP」タブの「設定」で「DHCPサーバを参照」を選択します。

4　「今すぐ適用」ボタンをクリックします。

5　次に「Webブラウザーの設定をしよう」(P.23)に進みます。

Web ブラウザーの設定をしよう

本製品を設定できるように、Web ブラウザーの設定を行います。ここでは、Internet Explorerの場合の設定方法を例に説明しています。その他のWeb ブラウザーの場合は、Web ブラウザーのヘルプなどを参照してください。

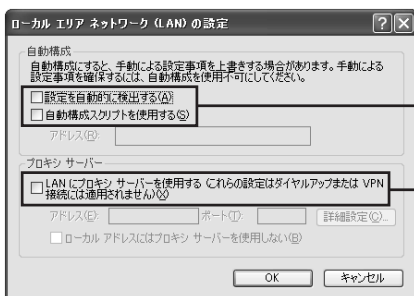
■ Windows の場合

ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法を説明しています。

1　Internet Explorerを起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

2　「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。

3　「LANの設定」ボタンをクリックします。

4　「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。

5　「OK」ボタンをクリックします。

6　「インターネットオプション」画面で「OK」ボタンをクリックします。

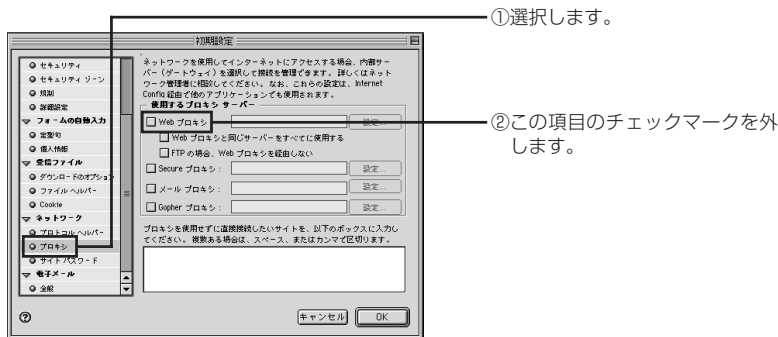
7　次に「パソコンと本製品を接続しよう」(P.24)に進みます。

■ Macintoshの場合

ここでは、Internet Explorer 5.0の場合の設定方法を説明しています。

1 Internet Explorerを起動し、「編集」－「初期設定」をクリックします。

2 「初期設定」画面の左にある設定項目から「ネットワーク」を選択し、「プロキシ」をクリックします。

3 「使用するプロキシサーバー」の設定項目内にある「Webプロキシ」のチェックマークを外します。

4 「OK」ボタンをクリックします。

5 次に「パソコンと本製品を接続しよう」(P.24)に進みます。

パソコンと本製品を接続しよう

■本製品を設置する場所について

「安全にお使いいただくために　必ずお守りください」（P.1）をお読みになり、使用時の注意についてご確認ください。本製品の側面にある通気口は、放熱のため塞がないでください。本製品を安定させて設置する場所が見つからない場合は、添付の縦置きスタンドを本製品の側面に取り付けることで、本製品を立てて設置できます。

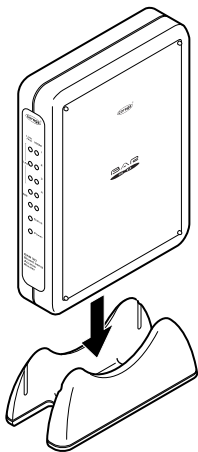
●設置に適した場所

・水平で落下の恐れがない場所（机の上など）
・風通しのよい涼しい場所

●設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・暖房器具の近くなど
・高温多湿でホコリの多い場所
・パソコンやモデムなど、発熱する機器の上

■縦置きスタンドの取り付け方

本製品を縦置きで使用する場合は、添付の縦置きスタンドをご利用ください。
下図のように本製品と縦置きスタンドのみぞを合わせて固定してください。

■本製品の電源を入れるには

●本製品の電源の取り方

本製品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。それ以外のACアダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

●本製品の電源の入れ方／切り方

本製品背面のDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと電源が入ります。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと電源が切れます。

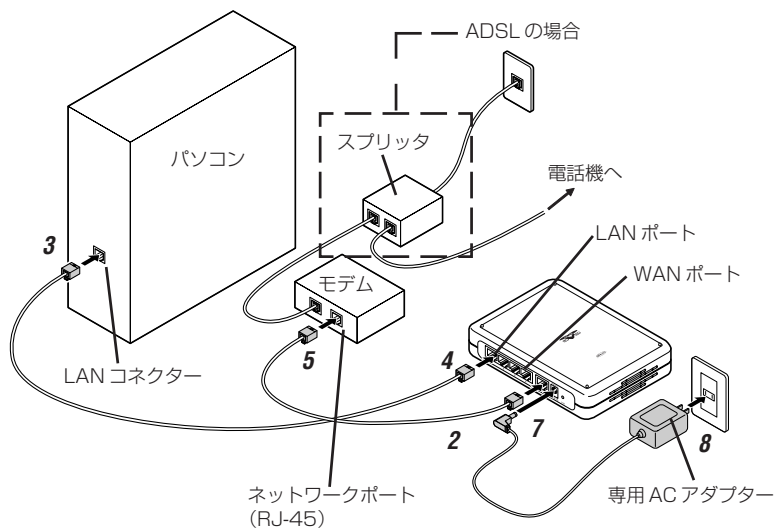
・本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
・ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■パソコン、モデムと本製品を接続する

本製品とモデム、パソコンなどネットワーク接続する機器はLANケーブルで接続してください。

●推奨ケーブルについて

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。本製品とパソコンを接続するLANケーブルの長さは100m以内にしてください。また、ケーブルは、カテゴリー5以上 のLANケーブルを使用してください。

1. 本製品、モデム、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。
2. 本製品背面のLANポートにLANケーブルを接続します。
3. LANケーブルのもう一方をパソコンのLANコネクターに接続します。
4. 本製品背面のWANポートに添付のLANケーブルを接続します。
5. モデムのネットワークポート(RJ-45)にLANケーブルのもう一方を接続します。
6. モデムの電源を入れます。
7. 本製品背面のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。
8. 本製品のACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
   本製品前面のPower LEDとStatus LEDが点灯します。Status LEDは数回点滅し、消灯します。

9 パソコンの電源を入れます。

10 本製品前面のLAN側のLink/Act LEDが点灯していることを確認します。

本製品の設定をしよう

パソコンから本製品を使ってインターネットに接続できるように本製品の設定を行います。本製品の設定はWebブラウザーで行います。本製品に接続されているパソコンのうち、1台から設定作業を行ってください。WebブラウザーにはInternet Explorer 5.0以降をご利用ください。これ以外のWebブラウザーでは、正しくセットアップが行えない場合があります。

■簡単に接続しよう

インターネットに接続できるように最小限の設定をします。インターネットへの接続方式はご契約されたプロバイダーによって異なります。

設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書を参照してください。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter(Return)」キーを押します。

3 ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、「ログイン」ボタンをクリックします。

※上の画面はWindows XPのものですが、他のOSでも手順は同じです。

・工場出荷時の状態では、パスワードは設定されていません。
・ユーザー名、パスワードは変更できます。

4 設定ユーティリティーが起動し、クイックセットアップ画面が表示されます。

5 ご契約のプロバイダーの接続タイプを選択し、クリックします。

ご契約のプロバイダーの接続タイプをクリックします。

下を参考に、該当する接続タイプを選択してください。

● PPPoE －フレッツ ADSL、B フレッツ等（P.29）
PPPoEと呼ばれる接続手順を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダーよりユーザー名とパスワードが割り当てられます。本製品ではプロバイダーの情報を設定ユーティリティーに登録すると、プロバイダーから配布される「フレッツ接続ツール」などを使用せずに自動的にインターネットに接続できます。

● IP アドレス自動取得（DHCP）－ Yahoo!BB、CATV 等（P.29）
プロバイダーからIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP機能を利用して、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

●固定 IP アドレス－固定 IP サービス等（P.30）
プロバイダーから固定IPアドレスを取得している場合に選択します。

6 接続タイプに応じて各項目を設定します。次の接続タイプごとの説明を参考に、設定を行ってください。

●「PPPoE」の場合

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

項目名	入力例	説明
①ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定されたユーザー名※を入力します。
②パスワード	Password02	プロバイダーより指定されたパスワード※を入力します。画面上では「＊」または「●」で表示されます。

※ プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります。

設定が終わったら、「適用」ボタンをクリックします。

●「IP アドレス自動取得（DHCP）」の場合

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

項目名	入力例	説明
①コンピューター名	corega	プロバイダーより指定されたコンピューター名※を入力します。
②ドメイン名	corega.ne.jp	プロバイダーより指定されたドメイン名※を入力します。

※ プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります。

設定が終わったら、「適用」ボタンをクリックします。

●「固定 IP アドレス」の設定項目

この画面は、下の表の入力例を使用した場合の例です。実際にはご使用の環境に合った値を設定してください。

項目名	入力例	説明
① IP アドレス	12.34.56.78	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。
②サブネットマスク	255.255.255.255	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
③ゲートウェイ	12.34.56.1	プロバイダーから指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。
④優先 DNS サーバー	12.34.56.98	ローカルに DNS サーバーを設置する場合、またはプロバイダーからDNSアドレスを提供されている場合に入力します。(プライマリDNSとも呼びます)
⑤代替 DNS サーバー	12.34.56.98	プロバイダーから代替 DNS アドレスを提供されている場合に入力します。(セカンダリ DNS とも呼びます)

設定が終わったら「適用」ボタンをクリックします。

7 次の画面が表示されたら、「再起動」ボタンをクリックします。

8 次のダイアログボックスが表示されたら「OK」ボタンをクリックします。

これで、本製品の基本的な設定は終わりです。

その他の設定項目については、「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」（P.42）をご覧ください。本製品のより高度な使用方法については、「STEP5 こんなときにはこの設定」（P.65）をご覧ください。

インターネットに接続してみよう

パソコンと設定ユーティリティーの設定が終わったら、インターネットに接続できるか確認します。

1 本製品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザーを起動します。

2 Webブラウザーのアドレス入力欄にコレガのホームページアドレス「http://www.corega.co.jp/」を入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

3 ホームページが表示されます。

（2003年5月現在）

ご契約のプロバイダーによっては、設定後、インターネットに接続できるようになるまでに、時間がかかる場合があります。詳しくは、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

もし、インターネットにつながらなかった場合は、本書の「STEP3 トラブルや疑問があったら」（P.33）をご覧ください。

■他のパソコンを接続する場合

本製品に接続したいパソコンが他にもある場合は、「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.11）、「Web ブラウザーの設定をしよう」（P.22）、「パソコン、モデムと本製品を接続する」（P.25）を参照し、同じ手順でパソコンの設定を行い、本製品のLAN 側ポートとパソコンをLAN ケーブルで接続してください。

STEP3

トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

解決のステップ

①取扱説明書や契約書を確認する。管理者に確認する

②この章のQ&Aを確認する

＜トラブルは？＞

インターネットに接続できない

①プロバイダーとの契約や回線工事は完了していますか？
②電源は入っていますか？
③モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？
④ケーブル（モデム⇔本製品⇔パソコン）は正しく接続されていますか？
⑤その他の接続は大丈夫ですか？
⑥パソコンのネットワークアダプターは正しく動作していますか？
⑦パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？
⑧プロバイダーからの入力事項を正しく設定しましたか？
⑨Webブラウザーの設定は正しいですか？

パソコン同士がつながらない

・ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

本製品の設定ユーティリティーが起動しない
本製品のパスワードを忘れた
ファームウェアのアップデートに失敗した

＜疑問は？＞

パソコンのIPアドレスを調べたい
本製品の設定のバックアップを取る。元に戻す
本製品のパスワードを変更したい
最新のファームウェアを入手してアップデートしたい
本製品を再起動する
本製品をリセット（工場出荷時に戻す）する

③コレガのホームページの情報（よくあるお問い合わせ）を活用する

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる
（詳しくは、取扱説明書裏表紙の「製品に関するご質問は…」をご覧ください。）

取扱説明書や契約書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にもプロバイダー契約時の設定マニュアル、モデムの取扱説明書、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。下記の「インターネットに接続できない」の項目をすべて確認してもつながらない場合は、プロバイダー、回線業者、パソコンのメーカーなどに問い合わせてみてください。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

■インターネットに接続できない

以下の項目については、順番に確認し☑のようにチェックを付けてください。

①プロバイダーとの契約や回線工事は完了していますか？

- **B フレッツまたはフレッツ ADSL ＋対応プロバイダーなどの場合**
  - □ 回線適合調査でサービス可能と認定され、工事は完了したか
  - □ B フレッツまたはフレッツ ADSL に対応したプロバイダーの工事は完了したか

- **ホールセール業者（イー・アクセス、アッカ・ネットワークスなど)、独自事業者（Yahoo！ BB など）の場合**
  - □ 業者による工事は完了したか

- **CATV サービスの場合**
  - □ CATV 加入時にインターネット接続の契約も完了したか
  - □ 業者による工事は完了したか

②電源は入っていますか？

各接続機器の電源ランプがついているか、または AC アダプターなどが外れていないかを確認してください。

□ ADSL モデム、CATV モデムまたはメディアコンバーターなどに電源が入っているか（AC アダプターが外れていないか）

□ 本製品に電源が入っているか（専用 AC アダプターが外れていないか）

③モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

モデム（ADSL モデム、CATV モデム、メディアコンバーター）とケーブル（電話回線用モジュラーケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が外れていないかを確認してください。詳しい接続については、モデムやメディアコンバーターに添付の取扱説明書をお読みください。

④ケーブル（モデム⇔本製品⇔パソコン）は正しく接続されていますか？

□ 本製品と ADSL モデム、CATV モデムまたはメディアコンバーターは LAN ケーブルで正しく接続されているか

本製品とモデムが正常に接続されているとWAN側のLink/Act LEDが点灯します。点灯していない場合は、ケーブルを差し直すなどしてみてください。また、モデムにMDI/MDI-Xを切り替えるスイッチがあれば切り替えてみてください。

□本製品とパソコンはLANケーブルで正しく接続されているか

パソコンと本製品が正常に接続されている場合は、パソコンに電源が入っていると本製品の前面にある各LANポートのLink/Act LEDが点灯します。パソコンにLANボードまたはLANカードがきちんと挿入されているか、LANポートに正しくケーブルが接続されているかも再度確認しましょう。

⑤その他の接続は大丈夫ですか？

- **ADSLサービスの場合**
  □スプリッタの出力ポートの接続は正しいか（電話用とADSLモデム用があります）

  ADSLモデム、スプリッタの取扱説明書を参照して確認してください。

- **CATVサービスの場合**
  □分配器の接続は正しいか（TV用とCATVモデム用があります）

  CATVモデム、分配器の取扱説明書を参照して確認してください。

⑥パソコンのネットワークアダプターは正しく動作していますか？

□パソコンのネットワークアダプターのドライバの設定は正しいか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.11）を参照してパソコンのネットワークアダプターが正常に動作していることを再度確認してください。

⑦パソコンのネットワーク設定は正しく設定しましたか？

□パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.11）を参照してパソコンのTCP/IPが正しく設定されていることを再度確認してください。

⑧プロバイダーからの設定事項を正しく入力しましたか？

□契約時の設定事項を本製品およびパソコンに正しく入力したか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「本製品の設定をしよう」（P.27）で行ったプロバイダーからの設定事項をすべて設定ユーティリティーに正しく入力しないとインターネットには接続できません。パスワードは入力を間違っても画面上で確かめることができませんので、再度入力をやり直してみてください。大文字／小文字が区別される場合もありますので注意してください。

⑨ Webブラウザーの設定は正しいですか？

□Webブラウザーの設定項目は正しいか

Webブラウザーの設定についてはプロバイダー契約時の設定マニュアル、パソコンに添付の取扱説明書やOSのヘルプなどを参照してください。

Windows98／95をお使いで、初めてインターネットに接続した場合、インターネット接続ウィザードが表示されます。その場合、次の手順で設定してください。

1. 「スタート」ボタンー「プログラム」ー「通信」ー「インターネット接続ウィザード」をクリックします。
2. 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
3. 「ローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
4. 「プロキシーサーバーの自動検出」のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
5. 「インターネットメールアカウントの設定」画面で「いいえ」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「完了」ボタンをクリックします。

パソコンをダイヤルアップ環境で利用されていた方は、お使いのOSによってはWebブラウザーの設定を変更する必要があります。プロバイダー契約時の設定マニュアル、パソコンに添付の取扱説明書やOSのヘルプなどを参照してください。

■パソコン同士がつながらない

●ファイルやプリンタが利用できるようにネットワーク設定をしましたか？

□パソコンのネットワーク共有サービスの設定を行う

本製品のLANポートに接続されたパソコン同士がデータのやり取りをするには、共有ネットワークの設定が必要です。複数台のパソコンでデータのやり取りをする場合、Windows では Microsoft ネットワーク共有サービスを使ったワークグループ接続（ピアツーピア接続）が一般的です。設定方法については、各OSのヘルプを参照してください。

■本製品の設定ユーティリティーが起動しない

●パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

□パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「パソコンのネットワーク設定をしよう」（P.11）を参照して、パソコンのTCP/IPが正しく設定されているか再度確認してください。

●プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

□Webブラウザーのプロキシサーバーの設定は正しいか

「STEP2 ネットワークに接続しよう」「Webブラウザーの設定をしよう」（P.22）を参照して、Webブラウザーでプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

■本製品のパスワードを忘れた

本製品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、この章の「本製品を工場出荷時の状態に戻す」(P.41)を参照してください。パスワードを設定したい場合は、この章の「本製品のパスワードを変更したい」(P.38)を参照して、再設定してください。

本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので再度設定しなおしてください。

■ファームウェアのアップデートに失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアのアップデートを行ってください。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、この章の「本製品を工場出荷時の状態に戻す」(P.41)を参照してください。

本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。

■パソコンの IP アドレスを調べたい

本製品よりパソコンに割り当てられた IP アドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。Windows 以外の OS については、OS のヘルプやマニュアルを参照してください。

< Windows XP ／ 2000 の場合>

1 「スタート」ボタン－「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。

2 キーボードから「ipconfig」と入力して、「Enter」キーを押します。

パソコンのIPアドレスが表示されます。

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥corega>ipconfig
```

「ipconfig」と入力します。

※画面例
「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、
パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3 IPアドレスを確認します。

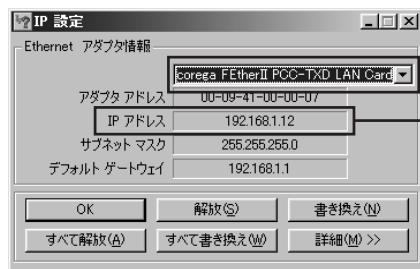
正しく表示されない場合は、手順2で「ipconfig /renew」と入力して、「Enter」キーを押します。

半角スペースを入力します。

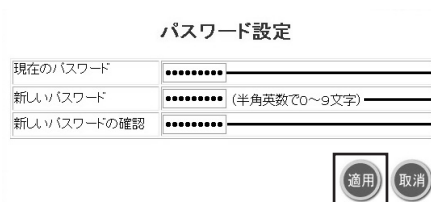
< Windows Me ／ 98 ／ 95 の場合>

1 「スタート」ボタン－「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、「OK」ボタンをクリックします。

3 パソコンで使用しているネットワークアダプターを選択します。
パソコンのIPアドレスが表示されます。
正しく表示されない場合は、「解放」ボタンをクリックした後、「すべて書き換え」ボタンをクリックしてください。

■本製品のパスワードを変更したい

本製品のパスワードは、次の手順で変更できます。

1 設定ユーティリティーを起動し、「基本設定」－「パスワード」をクリックします。

2 「適用」ボタンをクリックします。「パスワードが変更されました。」と表示されます。

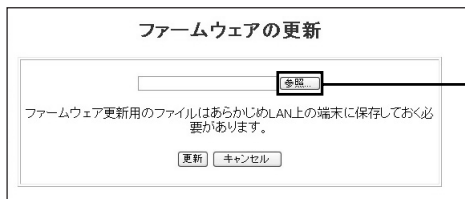
■最新のファームウェアを入手してアップデートしたい

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ(http://www.corega.co.jp/)から入手してください。

・ファームウェアをアップデートする前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
・ファームウェアをアップデート中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:¥corega」に「BARSD_RC3_0425.bin」を保存した場合で説明します。

1 設定ユーティリティを起動し、「ツール」－「ファームウェアの更新」をクリックします。

2 「参照」ボタンをクリックします。

3 「C:¥corega」内の「BARSD_RC3_0425.bin」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

4 「更新」ボタンをクリックします。

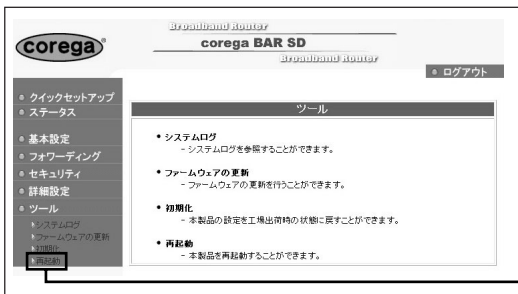
3 トラブルや疑問があったら

5　ファームウェアの更新がはじまり、ユーティリティーが再起動し、ログイン画面が表示されます。

■本製品を再起動する

本製品のシステムを再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「ファームウェアのアップデート」「工場出荷時の状態に戻す」とは異なりますのでご注意ください。
再起動には、次の方法があります。

＜設定ユーティリティーを使う＞

1　設定ユーティリティーを起動し、「ツール」－「再起動」をクリックします。

2　確認画面の「OK」ボタンをクリックします。

「クイックセットアップ」画面が表示されたら、再起動の完了です。

■本製品を工場出荷時の状態に戻す

本製品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて消えてしまい、購入したときの設定に戻ります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるようにしておいてください。

工場出荷時の状態に戻すには、次の２つの方法があります。２つの方法に違いはありません。どちらを使ってもかまいません。

＜Initスイッチを使う＞

1 本製品の電源を入れます。(通信をしていないことを確認してください)

2 本製品背面のInitスイッチを、ゼムクリップなど堅くて先の細いもので5秒以上押してください。

3 Status LEDが一度点灯しましたら、Initスイッチを離します。

＜設定ユーティリティーを使う＞

1 設定ユーティリティーを起動し、「ツール」−「初期化」をクリックします。

2 確認画面の「OK」ボタンをクリックします。

「設定は工場出荷時に戻されました。設定は再起動後に有効になります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう

本製品を使っていて「高度な機能を使いこなしたい」「設定ユーティリティーの詳しい情報が知りたい」と思ったときは、この章で項目を探してください。

設定ユーティリティーの使い方

■設定ユーティリティーの全体構成について

参照ページ

■設定画面の各機能

①ここをクリックするとコレガのホームページへ行きます。
②メニュー：各項目を選びます。
③ログアウトボタン：ユーティリティ画面を閉じます。
④現在選択中のメニュー項目名が表示されます。
⑤ヘルプ：現在選択中のヘルプを呼び出します。
　取　消：設定した値をキャンセルします。
　適　用：設定した値を決定します。

・以降の説明では、表の入力例を使用した場合の画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。
・各設定画面には、「ヘルプ」ボタンがあります。設定内容について詳しくは、ヘルプを参照してください。
・設定ユーティリティーを終了するときは、必ず画面右上の「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

●クイックセットアップ

簡単なインターネット接続の設定を行います。設定の詳細については、「STEP2 ネットワークに接続しよう」（P.11）を参照してください。

●ステータス

インターネットへの接続状態や本製品のシステム情報などを表示します。利用する接続方式によって表示される画面が異なります。

1 メニューから「ステータス」をクリックします。

＜PPPoE 接続の場合＞

ステータス

ファームウェアバージョン	R1.00 RC1 Apr. 04, 2003
システム時間	Dienstag, 22. April 2003 09:10:55
LAN側ステータス	
MACアドレス	00-50-18-1A-0F-EE
IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
WAN側ステータス	
MACアドレス	00-50-18-1A-0F-ED
接続タイプ	PPPoE
接続状態	接続
IPアドレス	12.34.56.78
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	12.34.56.1
優先DNSサーバー	12.34.56.98
代替DNSサーバー	12.34.56.99
接続時間	-
	接続

ログ情報　DHCPクライアント リスト　更新

＜DHCP を利用する場合＞

ステータス

ファームウェアバージョン	R1.00 RC1 Apr. 04, 2003
システム時間	Dienstag, 22. April 2003 09:12:16
LAN側ステータス	
MACアドレス	00-50-18-1A-0F-EE
IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
WAN側ステータス	
MACアドレス	00-50-18-1A-0F-ED
接続タイプ	IPアドレス自動取得(DHCP)
接続状態	接続
IPアドレス	12.34.56.78
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	12.34.56.1
優先DNSサーバー	12.34.56.98
代替DNSサーバー	12.34.56.99
	更新

ログ情報　DHCPクライアント リスト　更新

＜固定IPアドレスで接続する場合＞

ステータス

ファームウェアバージョン	R1.00 RC1 Apr. 04, 2003
システム時間	Dienstag, 22. April 2003 09:13:45
LAN側ステータス	
MACアドレス	00-50-18-1A-0F-EE
IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
WAN側ステータス	
MACアドレス	00-50-18-1A-0F-ED
接続タイプ	固定IPアドレス
接続状態	Static IP
IPアドレス	12.34.56.78
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	12.34.56.1
優先DNSサーバー	12.34.56.98
代替DNSサーバー	12.34.56.99
	接続

ログ情報　DHCPクライアント リスト　更新

項目名	説明
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョン番号を表示します。
システム時間	本製品に内蔵している時計の時刻を表示します。
MAC アドレス	本製品のローカル側（LAN）の MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	本製品のローカル側（LAN）IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のローカル側（LAN）サブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	本製品の DHCP サーバー機能の有効／無効を表示します。
MAC アドレス	本製品のインターネット側（WAN）のMACアドレスを表示します。
接続タイプ	接続方式（「PPPoE」「IP アドレス自動取得(DHCP)」「固定 IP アドレス」）を表示します。
接続状態	接続状態を表示します。
IP アドレス	本製品のインターネット側（WAN）IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のインターネット側（WAN）サブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	本製品のインターネット側（WAN）ゲートウェイアドレスを表示します。
優先 DNS サーバー	インターネット側（WAN）のプライマリDNSサーバーを表示します。
代替 DNS サーバー	インターネット側（WAN）のセカンダリDNSサーバーを表示します。
接続時間	接続時間を表示します。

ボタン名	説明
ログ情報	システムログを表示します。
DHCP クライアントリスト	本製品から DHCP 機能によって IP アドレスを割り当てられているパソコンの一覧を表示します。
更新	ステータスの情報が更新されます。
接続	インターネットに接続します。

▶WAN 側設定

WAN側のIP アドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスの設定、PPPoEの設定などインターネットに接続するための基本となる設定を行います。ご契約されたプロバイダーの接続タイプに合わせて設定してください。「クイックセットアップ」で設定済みの場合は、その設定内容が表示されます。

通常は「クイックセットアップ」から設定を行ってください。

1 メニューから「基本設定」―「WAN側設定」をクリックします。
WAN側の接続タイプを変更するときは、「WAN接続タイプ」の「変更」をクリックします。

＜固定IPアドレスで接続する場合＞

WAN側設定

▶ WAN接続タイプ	固定IPアドレス [変更]
▶ IPアドレス	12.34.56.78
▶ サブネットマスク	255.255.255.0
▶ ゲートウェイ	12.34.56.1
▶ 優先DNSサーバー	12.34.56.98
▶ 代替DNSサーバー	12.34.56.99

ヘルプ　適用　取消

項目名	入力例	説明
IP アドレス	12.34.56.78	プロバイダーから指定されたIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	255.255.255.0	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	12.34..56.1	プロバイダーから指定されたゲートウェイのIP アドレスを入力します。
優先 DNS サーバー	12.34.56.98	ローカルに DNS サーバーを設置する場合、またはプロバイダーから DNS アドレスを提供されている場合に入力します。プロバイダーから指示された順番通りに DNS サーバーのIPアドレスを入力します（ひとつだけの場合は優先DNSサーバーの欄に入力）。もし、「プライマリ」や「セカンダリ」という指定があれば、「プライマリ」は優先 DNS サーバーの欄に、「セカンダリ」は代替 DNS サーバーの欄に入力してください。
代替 DNS サーバー	12.34.56.99	

＜ IP アドレス自動取得（DHCP）を利用する場合＞

WAN側設定

▶ WAN接続タイプ	IPアドレス自動取得(DHCP) 変更
▶ コンピューター名	
▶ ドメイン名	
▶ DNS自動取得	☑有効
▶ DNS手動設定	0.0.0.0 優先DNSサーバー
	0.0.0.0 代替DNSサーバー

ヘルプ　適用　取消

項目名	入力例	説明
コンピュータ名	—	プロバイダーからホスト名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に、入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。
ドメイン名	—	プロバイダーからドメイン名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に、入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で 50 文字までです。
DNS 自動取得	—	プロバイダーよりDNSサーバーを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ※工場出荷時は、「有効」になっています。
DNS 手動設定	—	プロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスが指示された場合に選択します。
優先 DNS サーバー	12. 34. 56. 98	プロバイダーから指示された順番通りに DNS サーバーの IP アドレスを入力します（ひとつだけの場合は優先 DNS サーバーの欄に入力）。もし、「プライマリ」や「セカンダリ」という指定があれば、「プライマリ」は優先DNSサーバーの欄に、「セカンダリ」は代替 DNS サーバーの欄に入力してください。
代替 DNS サーバー	12. 34. 56. 99	

＜ PPPoE 接続の場合＞

WAN側設定

▶ WAN接続タイプ	PPPoE [変更]
▶ ユーザー名	myname@isp.ne.jp
▶ パスワード	●●●●●●●●●●●
▶ DNS自動取得	□有効
▶ DNS手動設定	12.34.56.98 優先DNSサーバー
	12.34.56.98 代替DNSサーバー
▶ Unnumbered	□
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
▶ 無通信タイマー	300 秒 □ 常時接続
▶ MTU	0

[ヘルプ] [適用] [取消]

項目名	入力例	説明
ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定されたユーザー名(プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で63文字までです。
パスワード	Password02	プロバイダーより指定されたパスワード（プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。パスワードは画面上では「＊」や「●」で表示されます。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で63文字までです。
DNS 自動取得	—	プロバイダーよりDNSサーバーを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ※工場出荷時は、「有効」になっています。
DNS 手動設定	—	プロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスが指示された場合に選択します。
優先 DNS サーバー	12. 34. 56. 98	プロバイダーから指示された順番通りにDNSサーバーのIPアドレスを入力します(ひとつだけの場合は優先DNSサーバーの欄に入力)。もし、「プライマリ」や「セカンダリ」という指定があれば、「プライマリ」は優先DNSサーバーの欄に、「セカンダリ」は代替DNSサーバーの欄に入力してください。
代替 DNS サーバー	12. 34. 56. 99	

項目名	入力例	説明
Unnumbered	—	Unnumberedを使用するときチェックを入れ、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
IP アドレス	12. 34. 56. 78	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	255.255.255.0	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
無通信タイマー	300	PPPoE接続で無通信状態になってから自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を設定します。1～34463の数値を指定してください。常時接続にチェックを入れると、無通信タイマーは働きません。 ※工場出荷時の設定は 300 秒です。
MTU	—	リモートサーバーとのやりとりで、自動的に設定されます。通常は変更しません。

▶LAN（LAN側設定）

本製品のローカル（LAN）側の設定を表示します。

1　メニューから「基本設定」—「LAN側設定」をクリックします。

項目名	入力例	説明
IP アドレス	192. 168. 1. 1	本製品のローカル（LAN）側に設定する IP アドレスを入力します。特殊な設定以外は工場出荷時の状態で使用することをお勧めします。 ※工場出荷時の設定値は、「192. 168. 1. 1」です。
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	本製品のローカル（LAN）側に設定するサブネットマスクを入力します。 ※工場出荷時の設定値は、「255. 255. 255. 0」です。

▶ DHCP サーバー

本製品の DHCP サーバーの設定を表示します。

1 メニューから「基本設定」—「DHCPサーバー」のボタンの順にクリックします。

項目名	入力例	説明
DHCP サーバー	—	チェックを付けると本製品の DHCP 機能が有効になります。 ※工場出荷時の設定値は、「有効」になっています。
開始 IP アドレス	11	DHCP サーバーで本製品に接続するパソコンに自動的に割り当てられる IP アドレスの開始アドレスを入力します。 ※工場出荷時の設定値は、「11」になっています。
終了 IP アドレス	60	DHCP サーバーで本製品に接続するパソコンに自動的に割り当てられる IP アドレスの終了アドレスを入力します。 ※工場出荷時の設定値は、「60」になっています。

ボタン名	説明
DHCP クライアントリスト	本製品から DHCP 機能によって IP アドレスを割り当てられているパソコンの一覧を表示します。下をご覧ください。
DHCP 固定 IP 設定	DHCP 固定 IP アドレスの設定をします。次ページをご覧ください。

DHCPクライアントリスト

IPアドレス	コンピューター名	MACアドレス
192.168.1.39	endeavor	00-01-03-45-20-6C

戻る 更新

ボタン名	説明
戻る	前の画面に戻ります。
更新	リストを更新します。

項目名	入力例	説明
DHCP 固定 IP アドレス	―	DHCP固定IPアドレスを使うときはここにチェックを入れます。
MAC アドレス	―	MAC アドレスを指定します。
IP アドレス	―	IP アドレスを指定します。指定しない場合は空欄にしておきます。
DHCP クライアント	―	DHCP クライアントリストを参照して、MAC アドレスと IP アドレスを指定できます。リストから MACアドレスとIPアドレスの組み合わせを選び、「設定」ボタンで指定した ID 番号に登録します。

登録可能な DHCP 固定 IP アドレス数は 4 です。

●パスワード設定

本製品の設定ユーティリティーにアクセスする際のパスワードを設定します。パスワードを設定すると、設定ユーティリティーを起動する際にパスワードの入力が必要になります。セキュリティー上、パスワードの設定をおすすめします。パスワードの変更手順については、「STEP3 トラブルや疑問があったら」「本製品のパスワードを変更したい」（P.38）を参照してください。

1 メニューから「基本設定」―「パスワード」ボタンをクリックします。

パスワードを忘れると、設定ユーティリティーで設定を変更できなくなりますので、ご注意ください。

4
設定ユーティリティーを見てみよう

●フォワーディング

▶ バーチャルサーバー

インターネット（WAN側）から本製品のLAN上のパソコンにアクセスできるようにします。外部にサーバーを公開できます。

1 メニューから「フォワーディング」－「バーチャルサーバー」をクリックします。

バーチャルサーバー

	ポート	サーバーアドレス	タイプ	有効
1		192.168.1	両方	□
2		192.168.1	両方	□
3		192.168.1	両方	□
4		192.168.1	両方	□
5		192.168.1	両方	□
6		192.168.1	両方	□
7		192.168.1	両方	□
8		192.168.1	両方	□
9		192.168.1	両方	□
10		192.168.1	両方	□
11		192.168.1	両方	□
12		192.168.1	両方	□
13		192.168.1	両方	□
14		192.168.1	両方	□
15		192.168.1	両方	□
16		192.168.1	両方	□
17		192.168.1	両方	□
18		192.168.1	両方	□
19		192.168.1	両方	□
20		192.168.1	両方	□

ヘルプ　適用　取消

項目名	入力例	説明
ポート	80	サーバーソフトが使用するポート番号を入力します。 ※ポート番号には 1 ～ 65534 の半角数字を入力してください。
サーバーアドレス	192.168.1.11	ポートを開放してインターネット（WAN）側からアクセスできるようにするパソコンのプライベート IP アドレスを設定します。
タイプ	TCP	開放するプロトコルのタイプを選択します。
有効	—	その行の設定を有効にしたい場合はチェックします。

登録可能なサーバー数は 20 です。

▶ アプリケーション

インターネットゲームや音声/ビデオチャットなどの複数のポートを使用するアプリケーションのトリガーポート、プロトコルタイプ、開放ポートを設定します。トリガーポートおよび使用するポート（開放ポート）、タイプに関しては、アプリケーションを作成したメーカーにお問い合わせください。

1 メニューから「フォワーディング」－「アプリケーション」をクリックします。

アプリケーション

	トリガー	タイプ	開放ポート	タイプ	有効
1	28800	UDP	2300-2400,47624	TCP	□
2		両方		両方	□
3		両方		両方	□
4		両方		両方	□
5		両方		両方	□
6		両方		両方	□
7		両方		両方	□
8		両方		両方	□

ヘルプ　適用　取消

項目名	入力例	説明
トリガー	28800	ローカル（LAN）側のアプリケーションが使用するポート（トリガーポート）のポート番号を設定します。アプリケーションを作成したメーカーの指示にしたがってください。
タイプ	UDP	トリガーポートのタイプを設定します。アプリケーションを作成したメーカーの指示にしたがってください。 ※工場出荷時は「TCP」になっています。
開放ポート	2300-2400, 47624	アプリケーションがトリガーポートを利用したときに開放するインターネット（WAN）側のポートのポート番号を設定します。アプリケーションを作成したメーカーの指示にしたがってください。16組まで設定可能です。
タイプ	TCP	開放ポートのタイプを設定します。2の「タイプ」の説明を参照してください。 ※工場出荷時は「TCP」になっています。
有効	－	チェックを付けるとアプリケーションのトリガーポート/開放ポートの設定を有効にします。 ※工場出荷時は「無効」になっています。

登録可能なトリガーポート数は８です。

▶ DMZ

インターネットゲームや音声 / ビデオチャットなどを使用する際、ポート番号が毎回変更される場合やポート番号がわからない場合などに使用します。

・DMZ に設定したパソコンは外部から用意にアクセスできるため、セキュリティ上非常に危険です。必要な場合のみ設定を有効にしてください。
・DMZ に設定するパソコンは、IP アドレスを固定する必要があります。
・バーチャルサーバーで設定しているポート番号については、バーチャルサーバーの設定が優先されます。
・DMZ を設定できるのは 1 台のみです。

1 メニューから「フォワーディング」－「DMZ」をクリックします。

項目名	入力例	説明
DMZ を使用する端末のアドレス	192.168.1.11	DMZ に設定したいパソコンの IP アドレスを入力します。
有効	－	DMZ 機能を有効にする場合はチェックを付けます。 ※工場出荷時は「無効」になっています。

●セキュリティー

▶パケットフィルタリング

LAN 側に接続されている端末のアクセスを、IP アドレスとポートで制御することができます。

1 メニューから「セキュリティ」–「パケットフィルタリング」をクリックします。

項目名	入力例	説明
パケットフィルタリング	—	チェックを付けるとパケットフィルタリングを有効にします。
送信元 IP：ポート	—	送信元のIPアドレスとポート番号を入力します。指定しない場合は空欄にしてください。 ※ポート番号には 1 ～ 65534 の半角数字を入力してください。
送信先 IP：ポート	—	送信先のIPアドレスとポート番号を入力します。指定しない場合は空欄にしてください。 ※ポート番号には 1 ～ 65534 の半角数字を入力してください。
有効	—	その行の設定を有効にしたい場合にチェックします。有効にすると、設定した送信元 IP と送信先 IP 間を除くパケットの通行を禁止します。

登録可能なパケットフィルタリングの数は 8 です。

▶ URL フィルタ

LAN 側に接続されている端末のアクセスを、URL で制御することができます。

1 メニューから「セキュリティ」－「URLフィルタ」をクリックします。

項目名	入力例	説明
URL フィルタ	－	チェックするとURL フィルタを有効にします。
URL	http://www.cd.xx.jp	接続制限をしたいURL を入力し、「追加」ボタンをクリックすると、フィルターリストにURL が追加されます。 文字列（例：violence）を入力すると、その文字列を含むURL がアクセス制限されます。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で72 文字までです。
有効	－	その行の設定を有効にしたい場合にチェックします。有効にすると指定したURL への接続を制限します。

登録可能なURL の数は 10 です。

▶ その他のセキュリティー設定

1 メニューから「セキュリティ」−「その他のセキュリティ設定」をクリックします。

その他セキュリティ設定

▶リモートログイン	0.0.0.0 / 88	□有効
▶ログイン時間	600 秒 (0 秒の場合は無効)	
▶ステルスモード		☑有効
▶DoSファイアウォール		☑有効
▶UPnP		☑有効
▶VPNパススルー	IPSec	□有効
	PPTP	□有効

ヘルプ 適用 取消

項目名		説明
リモートログイン		チェックを付けるとリモートログイン（インターネット側のパソコンからの設定ユーティリティへのアクセス）の設定を有効にします。 ※工場出荷時は「無効」になっています。 設定されたIPアドレスを持つ外部のパソコンのみ設定ユーティリティを起動することができます。IPアドレスを「0.0.0.0」にすると外部のすべてのパソコンがインターネット（WAN）側から設定ユーティリティを起動することができます。ただし、パスワードは必要です。 ※工場出荷時は「0.0.0.0」になっています。
ポート番号		インターネット側から本製品にアクセスする際のポート番号を指定します。1～65534の範囲でポート番号を入力してください。 ※工場出荷時は「88」になっています。
ログイン時間		設定した時間内に設定ユーティリティの操作がない場合、自動的にログアウトします。0～9999秒の間で設定できます。 ※工場出荷時は「600秒」に設定されています。
ステルスモード		本製品にpingコマンドが送信された場合に返答するかどうかを選択します。 ※工場出荷時は「有効」になっています。
DoS（Denial of Service）ファイアウォール		有効にすると、DoS（Denial of Service)攻撃への防御ができます。 ※工場出荷時は「有効」になっています。通常はこのまま使用することをお勧めします。
UPnP		チェックを付けるとUPnP機能を有効にします。有効にすると、自動的にLANに接続された装置を検出し認識します。 ※工場出荷時は「有効」になっています。
VPNパススルー		IPSec、PPTPを使用し、VPN（Virtual Private Networking)のパススルーを可能にするかどうかを選択します。
	IPSec	IPSecを使用するとき、チェックを入れます。
	PPTP	PPTPを使用するとき、チェックを入れます。

●詳細設定

システム時間やログの送信、ルーティング設定などの詳細な設定ができます。

▶ システム時間

システム時間を手動またはネットワーク経由で表示するかを選択することができます。

1 メニューから「詳細設定」－「システム時間」をクリックします。

インターネット経由	チェックを付けると「タイムサーバー」に表示されているタイムサーバーに接続して本製品に内蔵されている時計を正確な時間にあわせます。
タイムサーバー	接続するタイムサーバーを選択します。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
手動設定	手動でシステム時間を設定します。

本製品の電源を切ると、システム時間は初期値に戻ります。

▶ システムログ送信設定

本製品にはE-Mailによるログ情報の配信機能があります。

1 メニューから「詳細設定」－「システムログ送信設定」をクリックします。

項目名	説明
送信用(SMTP)サーバー	チェックを付け、メールサーバーのIPアドレスを入力すると、設定したE-Mailアドレスにシステムログを送信します。(PoP before SMTPなどの認証を行うタイプのメールサーバーでは、正常に機能しない場合があります)
送信先E-Mailアドレス	送信先E-Mailアドレスを入力します。
ログ情報	システムログを表示させます。

▶ ダイナミックDNS

インターネット上からIPアドレスではなくURLを指定してLAN内のバーチャル サーバーに接続できるようにします。ダイナミックIPアドレスのようなIPアドレスが固定されないサービスでも、LAN内のバーチャルサーバーにアクセスできるようになります。

ダイナミックDNSは、以下の手順で設定します。

1 DDNSサイトでサービスに登録手続きをします。
ここでは、例として「http://www.dyndns.org」に登録しています。
登録が完了すると、ユーザー登録確認メールが、E-Mailで送られてきます。

2 メニューから「詳細設定」－「ダイナミックDNS」をクリックし、登録したDDNSユーザー名とパスワード、使用したいドメイン名を入力して「保存」をクリックします。

4
設定ユーティリティーを見てみよう

項目名	入力例	説明
ダイナミック DNS	ー	「有効」にチェックをつけるとダイナミックDNSが有効になります。工場出荷時は無効になっています。
ドメイン名	corega.ne.jp	DDNSサイト（http://www.dyndns.org）で登録した希望のドメイン名を入力してください。 ※一度取得したドメイン名は変更できません。ドメイン名を変更する必要があれば、DDNSサイトでアカウントを終了し、その後、新たに登録をしなおしてください。 ※使用可能な文字は、半角の英字（小文字）とハイフンです。左側の入力欄は24文字以内、中央の入力欄は16文字以内、右側の入力欄は4文字以内で入力してください。
ユーザ名	corega	DDNSサイト（www.dyndns.org）で登録したユーザ名を入力してください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で15文字までです。
パスワード	Password 02	DDNSサイト（www.dyndns.org）で登録したパスワードを入力してください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で15文字です。入力したパスワードは画面上では「●」または「*」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

3 設定を保存すると、本製品はその時点で使用しているIPアドレスを自動的にDDNSサイト（http://www.dyndns.org）に記録します。
設定したダイナミックDNSを使用してバーチャルサーバーなどへの接続が可能になります。

DDNSサイト（http://www.dyndns.org）への登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

▶ルーティング設定

LAN 上に他のルーターまたはゲートウェイがある場合は、ルーティングの設定が必要です。

スタティック ルーティングテーブルを使用する際は、ルーティングの機能について理解する必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

1 メニューから「詳細設定」－「ルーティング設定」をクリックします。

項目名	入力例	説明
接続先ネットワーク	0.0.0.0	スタティックルーティングテーブルを設定する際の接続先ネットワークの IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	0.0.0.0	スタティックルーティングテーブルを設定する際の接続先ネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	192.168.1.1	スタティックルーティングテーブルを設定する際の接続先と通信するために使用するゲートウェイの IP アドレスを入力します。
メトリック	2	接続先ネットワークにデータが届くまでに通過するルーターの数です。 2 ～ 15 の間で設定してください。
有効	—	その行の設定を有効にしたい場合はチェックします。

登録可能なルーティングテーブル数は 8 です。

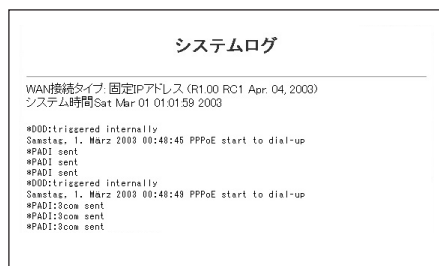
●ツール

▶ システムログ

1 メニューから「ツール」－「システムログ」をクリックします。

システムログ

WAN接続タイプ: 固定IPアドレス (R1.00 RC1 Apr. 04, 2003)
システム時間Sat Mar 01 01:01:59 2003

*DOD:triggered internally
Samstag, 1. März 2003 00:48:45 PPPoE start to dial-up
*PADI sent
*PADI sent
*PADI sent
*DOD:triggered internally
Samstag, 1. März 2003 00:48:49 PPPoE start to dial-up
*PADI:3com sent
*PADI:3com sent
*PADI:3com sent

▶ ファームウェアの更新

1 メニューから「ツール」－「ファームウェアの更新」をクリックします。
詳しくは、「STEP3トラブルや疑問があったら」「最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」(P.39)を参照してください。

▶ 初期化

1 メニューから「ツール」－「初期化」をクリックします。
詳しくは、「STEP3トラブルや疑問があったら」「本製品を工場出荷時の状態に戻す」(P.41)を参照してください。

▶ 再起動

1 メニューから「ツール」－「再起動」をクリックします。
詳しくは、「STEP3トラブルや疑問があったら」「本製品を再起動する」(P.40)を参照してください。

STEP5 こんなときにはこの設定

ネットワークゲームや音声／ビデオチャットなど、ネットワーク上から各パソコンに直接アクセスする必要がある場合は、本製品の設定を変更する必要があります。この章では、設定方法について説明します。

ネットワークゲームをするには

回線業者によっては、ネットワークゲームに対応していない場合がありますので、ご注意ください。

ゲームサーバーとデータの送受信を行うポートを本製品に設定する必要があります。

● UPnP に対応したネットワークゲームの場合

本製品はUPnPに対応しているので、UPnPに対応したネットワークゲームであれば、自動的に本製品の設定が行われます。
設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「その他セキュリティ設定」で、「UPnP」を「有効」にします。
詳しくは、「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」「その他セキュリティ設定」(P.59)を参照してください。

● UPnP に対応していないネットワークゲームの場合

UPnP に対応していないネットワークゲームの場合は、次のいずれかの方法で設定します。

・使用するポート番号、タイプが分かっている場合

設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「フォワーディング」の「アプリケーション」でネットワークゲームが使用するポート番号とタイプを設定します。
詳しくは、「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」「アプリケーション」(P.55)を参照してください。

ネットワークゲームが使用するポート番号、タイプについては、各ゲームの製造元にお問い合わせください。

・ネットワークゲームが使用するポート番号が分からない、または毎回変更される場合

DMZ 機能を使います。設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1 「フォワーディング」の「DMZ」でネットワークゲームするパソコンを選択します。
詳しくは、「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」「DMZ」(P.56)を参照してください。

DMZ機能の対象となっているパソコンは、本製品のファイアーウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ 機能は、必要な場合のみ有効にしてご使用ください。

音声／ビデオチャットなどのツールを使う

ここでは、代表的なソフトとして、NetMeeting 、MSN Messenger、Windows Messengerを利用する場合の設定を説明しています。

本製品では、Microsoft Windows Messenger、MSN Messenger Ver.4.6 以降およびNetMeetingに対応しています。各アプリケーションの使い方は、ヘルプやホームページを参照してください。

● NetMeeting

設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1　「アドバンスドインターネット」の「DMZ」でNetMeetingするパソコンを選択します。
詳しくは、「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」「DMZ」(P.56)を参照してください。

DMZ機能の対象となっているパソコンは、本製品のファイアーウォール機能が無効になるため、セキュリティが弱くなります。DMZ 機能は、必要な場合のみ有効にしてご使用ください。

● Windows Messengerr（Ver.4.7 以降)、MSN Messenger（Ver.5.0 以降）

本製品はUPnP に対応しているので、Windows Messenger、MSN Messenger を利用する際は、自動的に本製品の設定が行われます。
設定ユーティリティーで次の設定を行います。

1　「その他セキュリティ設定」で、「UPnP」を「有効」にします。
詳しくは、「STEP4 設定ユーティリティーを見てみよう」「その他セキュリティ設定」(P.59) を参照してください。

Windows Messenger、MSN Messenger、NetMeeting は 1 台のパソコンでのみ使用できます。

製品仕様

製品名			corega BAR-SD
ネットワークインターフェース	WAN 側	100BASE-TX/10BASE-T	1 ポート（MDI/MDI-X 自動認識）
		サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX Fast Ethernet）、IEEE802.3x（Flow Control）
	LAN 側	100BASE-TX/10BASE-T	4 ポート（全ポート MDI/MDI-X 自動認識）
		サポート規格	IEEE802.3（10BASE-T）、IEEE802.3u（100BASE-TX Fast Ethernet）、IEEE802.3x（Flow Control）
		アクセス制御方式	CSMA/CD
		データ伝送方式	10Mbps/100Mbps
		スイッチング方式	ストア＆フォワード方式
		バッファ容量	4Mbit flash,16Mbit SDRAM
ハードウェア構成	本体仕様	適用規格	EMI 規格 VCCI Class B
		定格入力電圧	AC100V
		最大消費電流	1.3A
		最大消費電力	6.5W
	本体使用環境条件	保管時温度差	− 20 〜 60℃
		保管時湿度	95%以下（ただし結露なきこと）
		動作時温度	0 〜 40℃
		動作時湿度	80%以下（ただし結露なきこと）
	本体外形寸法（突起物含む）		153mm（W）× 112.4mm（D）× 31mm（H）
	本体重量（AC アダプタ、スタンド含まず）		230g
基本機能	ルーティング方式		スタティック
	ルーティング対象プロトコル		IP
	設定方式		Web ブラウザー
	初期化方式		Init スイッチ /Web ブラウザー
	ファームウェア更新方法		Web ブラウザー
	対応プロトコル		DHCP, PPPoE, PPTP, NTP, SMTP
	対応 OS		Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XP、Mac,Linux,Unix（TCP/IP をサポートする OS）
各種機能	アドレス変換		NAT/IP マスカレード
	DHCP サーバー / クライアント		サーバー（LAN 側最大 253 クライアント）、クライアント（WAN 側）
	UPnP		○
	NetMeething（同時使用可能数）		○（1）
	MSN Messenger（同時使用可能数）		○（1）
	Windows Messenger（同時使用可能数）		○（1）
	VPN		○ PPTP/IPSec（共にパススルー）（1）
	PPPoE（同時に使用可能なアカウント数）		○（1）
	セキュリティー		○ IP/Port（グループ単位でのフィルタリングも可能）
	DMZ		○
	バーチャルサーバー		○
	ログ記録		○（メール転送機能あり）
	ファイアーウォール		○（DoS アタック）

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、CATV/ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本製品も含むパソコンなど）のMAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。
本製品のWAN 側のMAC アドレスは本体底面に記入されています。LAN 側のMAC アドレスについては、設定ユーティリティーのシステム情報で確認できます。MAC アドレスは、6 バイト（48 ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、裏表紙に記載の「お問い合わせ修理依頼に関する必要事項」を参照して必要事項をご記入の上、保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、弊社修理センター宛てに製品（付属品一式を含む）を送付ください。製品を送付する際は、以下の点にご注意ください。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 弊社修理センターへ製品を送付する際の送付料金につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付願います。普通郵便による送付は固くお断りいたします。
- 修理期間は、製品到着後、約 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2003 株式会社コレガ
corega は、株式会社コレガの登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。
2003 年 5 月 Rev.A　初版

弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://www.corega.co.jp/

製品に関するご質問は…

製品のご質問はコレガサポートセンターまで必要事項をご記入してFAXまたは電話にてお問い合わせください。
お問い合わせ際には、下記の必要事項をご記入いただいた書面をFAXいただくか、電話にてお知らせください。

■お問い合わせ先

corega サポートセンター
TEL.045-476-6268
FAX.045-476-6294

＜受付時間＞
10：00～12：00、13：00～18：00　月～金（祝・祭日を除く）

■修理品受付け先

〒222-0033　横浜市港北区新横浜 1-19-20
corega　修理センター
（詳しくは、「保障と修理について」（P.68）を参照してください）

■お問い合わせ修理依頼に関する必要事項
あらかじめ下記に必要事項を控えておいてください。

- ・製品名
- ・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、FAX 番号
- ・購入店
- ・購入日付
- ・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）